



進路だより

令和3年度 第1号
令和3年 4月30日
島根県立大東高等学校
進路指導部 発行

「進路だより」は、大東高校進路指導部が発刊する情報紙です。主に進路に関する情報提供や、各種行事や講座の案内・報告を行っていきます。第1号は、国公立・私立4年制大学についての**進学特集**です。

2021年度大学入試結果概況（今春の卒業生が受けた入試）

【大学入学共通テスト概況】

○志願者数・受験者数ともに過去最大の減少率

志願者数は535,245人（前年比96%）、受験者数は484,114人（前年比92%）と、いずれもセンター試験時代を通じて過去最大の減少率となりました。現役生は若干の減少、既卒生が約1万9千人減少しました。これは、翌年の共通テストを敬遠して、浪人を避けたものと考えられます。

また、共通テストには出願はしたものの、コロナ禍での実施となり、受験を取りやめた受験生が例年以上に多く、受験率（受検者数／出願者数）は90%（昨年95%）に大きくダウンしました。

○作問や出題形式が変化、読み取る資料も増加

昨年までのセンター試験に比べて、解答マーク数が減少した科目が多い一方で、グラフ、地図、写真、文章など、読み取る資料の分量が全体的に増加しました。また、授業における学習場面、資料やデータをもとに考察する場面など、学習過程を意識した出題設定が科目を問わず見られました。理科、地理歴史では、正解の数と組み合わせが異なる選択肢から正しいものを選択する問題が出題されたほか、理科では新たに、算出した数値そのものをマークする形式も加わりました。

○7科目型平均点は文系で上昇(昨年差+8点)、理系は大きく上昇(昨年差+19点)

文系型：国(200)・地公(2科目で200)・数(2科目で200)・理(100)・英(200)の900点満点
理系型：国(200)・地公(1科目で100)・数(2科目で200)・理(200)・英(200)の900点満点

※英語はリーディング(筆記)＋リスニングの2科目で200点。

※理科は、文系：主に「理科①2科目(Aパターン)」or「理科②1科目(Bパターン)」で100点満点

理系：主に「理科①2科目+理科②1科目(Cパターン)」or「理科②2科目(Dパターン)」で200点満点

上の表中の各科目の平均点は大学入試センターの発表による本試験（第1日程1月16・17日）の値を100点満点に換算した値です。2020年度までは大学入試センター試験、2021年度から大学入学共通テストとなりました。2021年度の公民と理科②は得点調整後の値です。また、7科目型平均点は河合塾の推定値です。

「得点調整」は、地理歴史の「世界史B」「日本史B」「地理B」の間、公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間、理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」の間で、20点以上の平均点差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合に、教科ごとに「分位点差縮小法」という方法を用いて行われるものです。ただし、受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象になりません。詳しくはインターネットで検索してください。

教科・科目名	(満点)	平均点(100点満点に換算)			
		2020年度	2021年度	前年差	
国語	(200)	59.66	58.75	-0.91	
地理歴史	世界史B	(100)	62.97	63.49	0.52
	日本史B	(100)	65.45	64.26	-1.19
	地理B	(100)	66.35	60.06	-6.29
公民	現代社会	(100)	57.30	58.40	1.10
	政治・経済	(100)	53.75	57.03	3.28
数学①	数学Ⅰ・A	(100)	51.88	57.68	5.80
数学②	数学Ⅱ・B	(100)	49.03	59.93	10.90
理科①	物理基礎	(50)	66.58	75.10	8.52
	化学基礎	(50)	56.40	49.30	-7.10
	生物基礎	(50)	64.20	58.34	-5.86
理科②	物理	(100)	60.68	62.36	1.68
	化学	(100)	54.79	57.59	2.80
	生物	(100)	57.56	72.64	15.08
英語	リーディング	(100)	58.15	58.80	0.65
	リスニング	(100)	57.56	56.16	-1.40
7科目文系型平均点		(900)	547	555	8
7科目理系型平均点		(900)	552	571	19

今回の2021年度では、公民で「倫理」と「政治・経済」で22.09点、理科②で「生物」と「化学」で21.59点の平均点差が生じたので、その差が15点になるように調整されました。

【国公立大学志願状況概況】

○国公立大学志願者数・・・各日程とも減少(前期日程も過去最少を更新)

国公立大学入試の中心となる前期日程の志願者数は235,403人（前年比97%）と2年連続で減少、過去最少の志願者数を更新しました。また、志願倍率（志願者／募集人員）は初めて3倍を割り込みました（2.9倍）。ただし、国公立大学の敬遠を示す数字ではありません。18歳人口の減少により、大学志願者数自体が減少していますので、それが影響したものと考えられます。

後期日程の志願者数は前年比97%と減少率は小幅となりました。今春も後期日程の廃止・縮小は進んでいるものの、共通テストの平均点が理系を中心にアップしたことから、後期日程まで視野に入れて出願した様子が見え、志願倍率は前年の9.3倍から9.6倍にアップしました。

今春は共通テスト実施初年度であることに加えて、新型コロナウイルス感染症による影響で出願直前まで選抜方法等の変更が発表されるなど、例年とは異なる様相でした。こうした状況は志願動向にも影響を及ぼしました。2次試験の中止を発表した横浜国立大学では前期日程の志願者数が前年比66%と大幅に減少、同様に2次試験を中止した宇都宮大学（同86%）、信州大学（人文：同71%、経法：同83%）、山陽小野田市立山口東京理科大学（同52%）なども志願者が減少しました。これらの大学は一部を除き、共通テストの成績でほぼ合否が決まるため、共通テストの成績に不安がある受験生を中心に、出願を避けたものと考えられます。

○学部系統別の志願状況・・・「医療」系で高い人気示す

次の表は、国公立大学の前期日程の志願状況を、学部系統別にまとめたものです。国公立大学全体の志願者数が前年比97%であることを基準に各系統の前年比を確認してください。

文系では「文・人文」の減少率がやや高くなった一方、前年入試で1割減となった社会科学系では「社会・国際」「経済・経営・商」の減少率が小幅に留まりました。また、「教育－教員養成課程」も地元志向や資格系統の人気を反映して減少率は小幅に留まっています。

理系は「理」で前年並みの志願者が集まったほか、医療系は多くの分野で志願者が増加しており、堅調な人気を示しました。

国公立大学(前期日程)学部系統別志願状況（Kawaijuku Guideline 2021.4・5より）								
系 統	募集人員		志 願 者 数			志 願 倍 率		
	'20年度	'21年度	'20年度	'21年度	前年差	前年比	'20年度	'21年度
文・人文	7,038	7,092	21,946	20,579	-1,367	94%	3.1	2.9
社会・国際	3,969	3,989	12,939	12,810	-129	99%	3.3	3.2
法・政治	4,158	4,136	12,796	12,219	-577	95%	3.1	3.0
経済・経営・商	8,119	8,155	25,758	25,154	-604	98%	3.2	3.1
教育－教員養成課程	7,172	7,027	17,606	17,333	-273	98%	2.5	2.5
教育－総合科学課程	838	827	2,122	1,905	-217	90%	2.5	2.3
理	4,907	5,110	14,036	14,003	-33	100%	2.9	2.7
工	22,834	22,570	66,976	64,629	-2,347	96%	2.9	2.9
農	5,657	5,529	15,469	14,996	-473	97%	2.7	2.7
医・歯・薬・保健	10,539	10,690	34,762	35,133	371	101%	3.3	3.3
医	3,589	3,601	14,741	14,773	32	100%	4.1	4.1
歯	452	458	1,657	1,595	-62	96%	3.7	3.5
薬	752	825	2,620	2,851	231	109%	3.5	3.5
看護	3,931	3,931	10,323	10,423	100	101%	2.6	2.7
医療技術・他	1,815	1,875	5,421	5,491	70	101%	3.0	2.9
生活科学	788	794	2,424	2,492	68	103%	3.1	3.1
芸術・スポーツ科学	1,582	1,551	7,354	6,722	-632	91%	4.6	4.3
総合・環境・情報・人間	2,523	2,456	8,915	7,425	-1,490	83%	3.5	3.0
国公立 計	80,124	79,926	243,103	235,400	-7,703	97%	3.0	2.9

○難関国立大学の志願状況 … 難関大は強気の出願

旧帝大を中心とした難関10大学の志願状況を、前期日程・後期日程に分けて次の表にまとめました。難関10大学全体では、前期日程は54,880人（前年比99%）でした。大学別にみても、5大学で志願者が増加しており、特に神戸大学は前年比111%と1割以上増加しました。前期日程全体の志願者が減少しているなか、今年度の受験生が積極的に難関大に挑戦した様子がみられます。これも、共通テストの平均点が理系を中心にアップしたことが原因であると考えられます。

大学名	前期日程				後期日程			
	'20年度	'21年度	前年差	前年比	'20年度	'21年度	前年差	前年比
北海道	5,474	5,104	-370	93%	4,278	3,517	-761	82%
東北	4,384	4,499	115	103%	1,354	1,251	-103	92%
東京	9,259	9,089	-170	98%	-	-	-	-
東京工業	3,790	3,638	-152	96%	512	-	-512	-
一橋	2,490	2,564	74	103%	1,075	1,036	-39	96%
名古屋	4,422	4,581	159	104%	55	54	-1	98%
京都	7,347	7,045	-302	96%	352	379	27	108%
大阪	7,462	6,991	-471	94%	-	-	-	-
神戸	5,569	6,194	625	111%	3,746	4,042	296	108%
九州	5,014	5,175	161	103%	2,227	2,454	227	110%
難関10大計	55,211	54,880	-331	99%	13,599	12,733	-866	94%
その他大計	187,841	180,523	-7,318	96%	165,141	151,488	-13,653	92%

【私立大学志願状況概況】

○私立大学志願者数は大幅減少

次の表は、私立大学の入試について全国の主要110大学の志願状況を集計したものです。3月5日までのもの（全私立大学志願者総数の約8割）で、21年度の志願者数が未公表・確定前の方式は集計対象外としています。

110大学の一般選抜の志願者数は、全体で前年比88%と前年から約33万人減少しました。高い減少率となった要因は、大学志願者数の減少に加え、出願校を抑える受験生が例年以上に多かったためと考えられます。コロナ禍での入試となったため、感染拡大に対する懸念や、家庭の経済状況悪化により出願校を絞った受験生が多かったものと考えられます。また、昨年度入試は志願者が減少した一方で合格者は増加し、倍率はダウンしました。今春はさらなる競争緩和が予想されたことも、出願校数を抑える動きにつながったのではないかと推測できます。方式別にみると、共通テスト方式は前年比94%と一般方式に比べて減少率は小幅です。これは今春新たに共通テスト方式を導入した大学の影響が大きいようです。

今春はコロナ禍での入試となるため、個別試験を受験する必要のない共通テスト方式に志願者が集まることも予想されましたが、実際には志願者が大きく減少しました。この要因としては共通テスト初年度であったことが挙げられます。当初、共通テストはセンター試験と比べて難化すると予想されていました。結果的には多くの科目で前年を上回る平均点となりましたが、難化を想定して共通テスト方式の活用を諦めた受験生が例年以上に多かったためと考えられます。

大学グループ	一般方式			共通テスト方式			合計		
	20年度	21年度	前年比	20年度	21年度	前年比	20年度	21年度	前年比
主要110大学 合計	1,912,402	1,633,801	85%	856,422	800,803	94%	2,768,824	2,434,604	88%
早慶上理	190,163	150,381	79%	35,378	53,529	151%	225,541	203,910	90%
MARCH	282,024	246,709	87%	128,569	126,203	98%	410,593	372,912	91%
成成明國武	68,731	58,275	85%	33,177	28,403	86%	101,908	86,678	85%
日東駒専	196,559	173,243	88%	90,608	84,022	93%	287,167	257,265	90%
首都圏理系10大学	171,514	152,709	89%	116,860	117,171	100%	288,374	269,880	94%
首都圏女子14大学	49,538	41,024	83%	24,840	20,664	83%	74,378	61,688	83%
関関同立	178,935	163,331	91%	77,973	67,478	87%	256,908	230,809	90%
産近甲龍	203,183	176,084	87%	66,402	67,776	102%	269,585	243,860	90%
北星学園・北海学園	7,310	6,222	85%	3,564	2,805	79%	10,874	9,027	83%
東北学院	6,349	6,144	97%	3,589	3,747	104%	9,938	9,891	100%
南山・愛知・中京・名城	72,532	64,149	88%	44,133	39,135	89%	116,665	103,284	89%
西南学院・福岡	47,597	40,699	86%	25,804	20,806	81%	73,401	61,505	84%

※大学グループ

早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科、MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政、

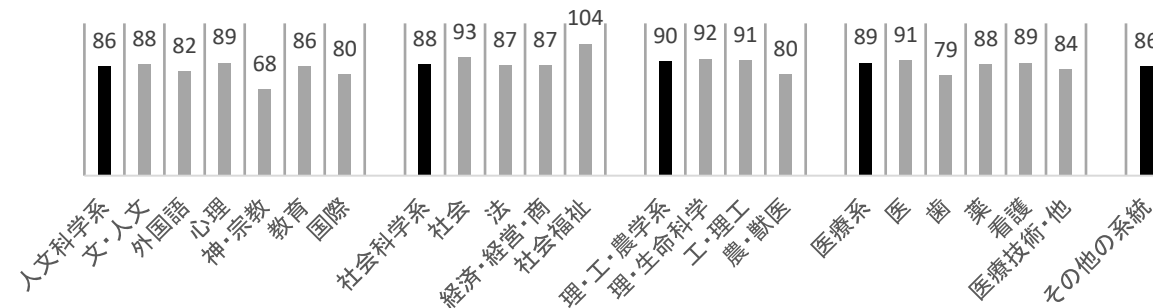
成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵、日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修、首都圏理系10大学：千葉工業・北里・工学院・芝浦工業・東京工科・東京電機・東京都市・東京農業・麻布・神奈川工科、首都圏女子14大学：大妻女子・学習院女子・共立女子・白百合女子・実践女子・昭和女子・聖心女子・清泉女子・津田塾・東京女子・東京家政・日本女子・東洋英和女学院・フェリス女学院、関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館、産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷

○学部系統別の志願状況 … 社会福祉、医などの資格系は堅調な人気

次のグラフは、私立大学の学部系統別志願状況（21年度の志願者数が未公表・確定前の方式は集計対象外）です。私立大学全体の志願者数前年比88%を基準にみていると、文系では「人文科学」で減少率がやや高くなりました。なかでも「外国語」「国際」分野では、志願者が前年から2割近く減少しており、コロナ禍による進学後の学生生活への不安感から敬遠された様子がうかがえます。「社会科学」系は前年比88%と、私立大学全体と同等の減少率となりましたが、「社会福祉」分野では前年比104%と志願者が増加しました。

理系では、「理・生命科学」「工・理工」では減少率は小幅に留まった一方、「農・獣医」では大きく減少しました。医療系では、「医」が前年比91%と堅調な人気を示しています。大学生の就職状況が芳しくないことから、国公立大学と同様に資格系に関連の深い分野に志願者が集まっている様子がわかります。

私立大 学部系統別志願状況



※上のグラフ中の数値は志願者数前年比 (%) 3月5日現在、河合塾集計

○主な私立大学の志願状況

右の表に、主な私立大学の方式別の志願者数と前年比 (%) を掲載しました。参考にしてください。

大学名	一般方式			共通テスト方式			合計		
	'20年度	'21年度	前年比	'20年度	'21年度	前年比	'20年度	'21年度	前年比
青山学院	46,683	20,056	43%	11,139	20,067	180%	57,822	40,123	69%
慶應義塾	38,454	36,681	95%	-	-	-	38,454	36,681	95%
駒澤	19,682	18,751	95%	9,143	11,150	122%	28,825	29,901	104%
芝浦工業	23,788	21,393	90%	17,117	16,678	97%	40,905	38,071	93%
上智	26,156	5,412	21%	-	20,857	-	26,156	26,269	100%
専修	33,320	29,876	90%	17,243	17,102	99%	50,563	46,978	93%
中央	48,408	45,247	93%	36,820	32,110	87%	85,228	77,357	91%
津田塾	2,123	1,811	85%	2,222	2,052	92%	4,345	3,863	89%
東京女子	4,883	3,952	81%	3,526	3,238	92%	8,409	7,190	86%
東京電機	19,715	19,576	99%	9,293	9,382	101%	29,008	28,958	100%
東京理科	36,944	33,468	91%	19,411	15,833	82%	56,355	49,301	87%
東洋	65,249	56,929	87%	36,166	32,558	90%	101,415	89,487	88%
日本	78,308	67,687	86%	28,056	23,212	83%	106,364	90,899	85%
法政	71,423	65,756	92%	32,205	25,192	78%	103,628	90,948	88%
明治	75,693	71,551	95%	26,914	27,458	102%	102,607	99,009	96%
立教	39,817	44,099	111%	21,491	21,376	99%	61,308	65,475	107%
早稲田	88,609	74,820	84%	15,967	16,839	105%	104,576	91,659	88%
中京	19,593	16,339	83%	14,025	11,564	82%	33,618	27,903	83%
京都産業	36,354	27,122	75%	19,866	13,803	69%	56,220	40,925	73%
同志社	39,654	36,490	92%	10,292	7,991	78%	49,946	44,481	89%
立命館	57,590	48,148	84%	37,186	26,798	72%	94,776	74,946	79%
龍谷	42,571	41,177	97%	10,428	14,538	139%	52,999	55,715	105%
関西	59,441	56,108	94%	20,444	22,438	110%	79,885	78,546	98%
近畿	112,524	98,285	87%	29,068	34,287	118%	141,592	132,572	94%
関西学院	22,250	22,585	102%	10,051	10,251	102%	32,301	32,836	102%
甲南	11,734	9,500	81%	7,040	5,148	73%	18,774	14,648	78%
広島修道	5,379	5,328	99%	3,924	3,925	100%	9,303	9,253	99%
福岡	34,293	29,875	87%	17,813	14,197	80%	52,106	44,072	85%